80プロジェクト

まず、私たちが楽しむ

大きな方向性



# 目的

### **SEEDS**

(らしさ、歴史)

- ・何事にも真剣
- 未来志向
- 自主、自律
- 社交性
- ・問いを立てる力
- ・リーダーシップ
- ・実行力

#### **NEEDS**

(時代の要請、未来)

目的

- 多樣化
- インフレ基調
- 超高齡化社会
- ・人間の再定義
- ・上下から左右へ
- SWGs
- ・妄想力

未来拓かん未来築かん



### 未来のためにやる ひとりひとりの未来をより良くするために

# 未来志向の同窓会

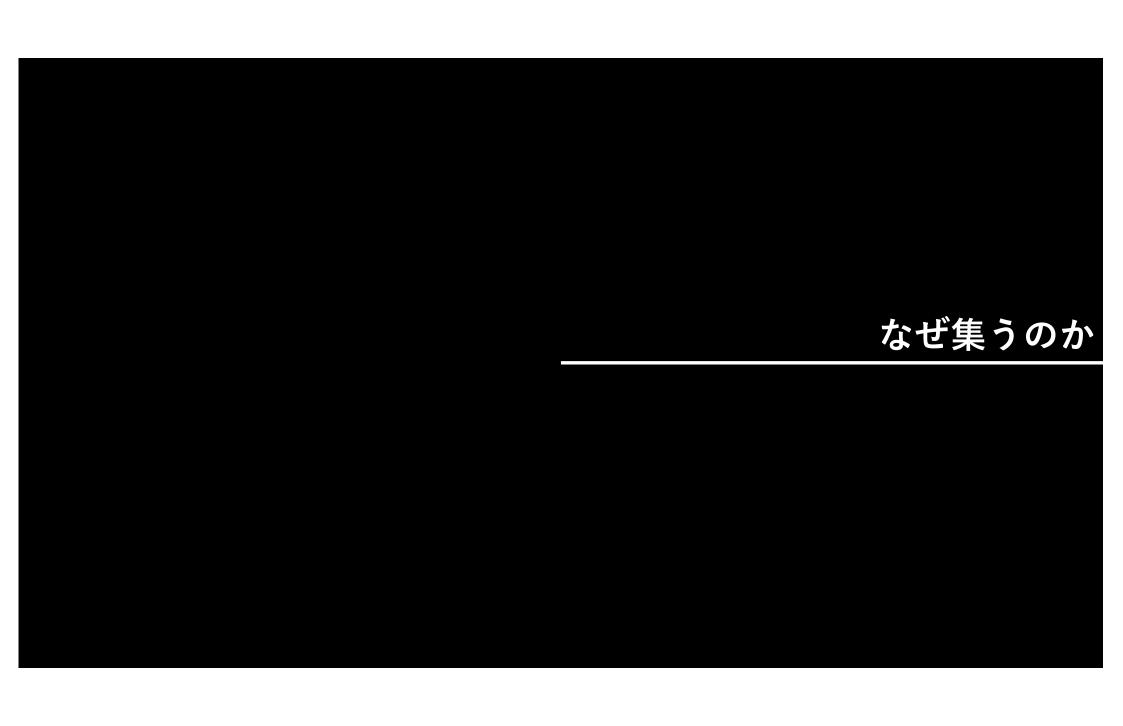
### 振り返るより前を見よう

何のために行くのか。 懐古的になっている暇はない。

もっともっと進みたい。 未来を見て、勇敢になる。

すごい人脈。 大きすぎず、小さすぎず。 最適に人数のネットワーク。 お金以上の財産。

その財産をどう活かそう。



## 「また明日から元気になれる」



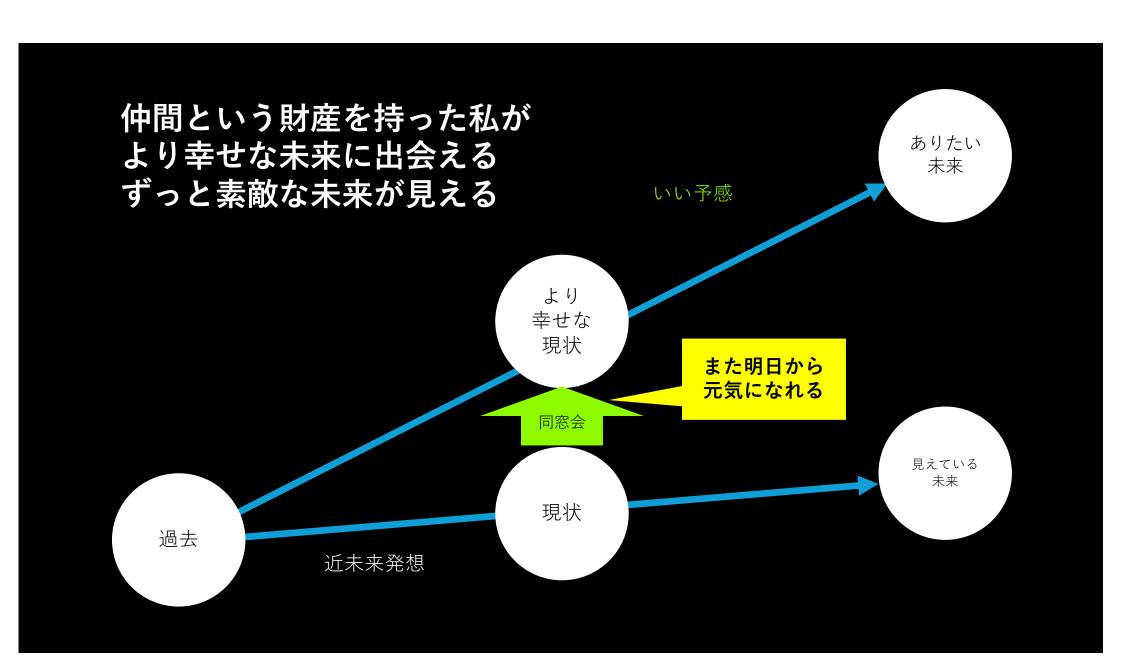
### また明日から 元気になれる

- □ 私はこんなに素晴らしい財産を持っている
- □ それは、かけがえのない人脈
- □ 遊びも学びもしごとも全部―生懸命にやる仲間
- □ 今でも学べる
- □ 明るい未来が見えてくる

## ワクワク

いい予感と出会う

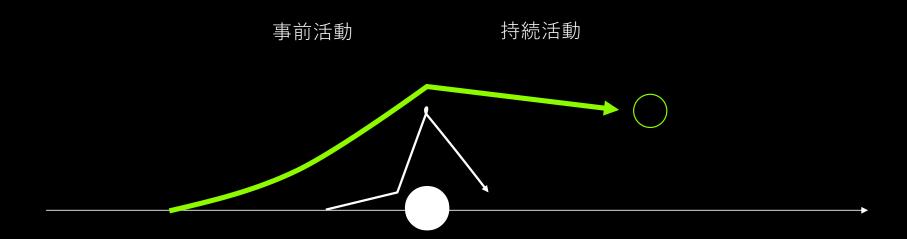
いい予感を持ち帰る







何を与えるか ではなく 何を残すのか



いかに自分事化するか 気になる存在 カウントダウンしたい気持 **クラウドファンディング**  つづくつながり 分科会多発 波及 ニュースリリース

# 附中の存在意義

附中のブランディング

ブランド

「いい学校」

**Identity** + Reputation

### 同窓生からみた最近の附中に対する懸念

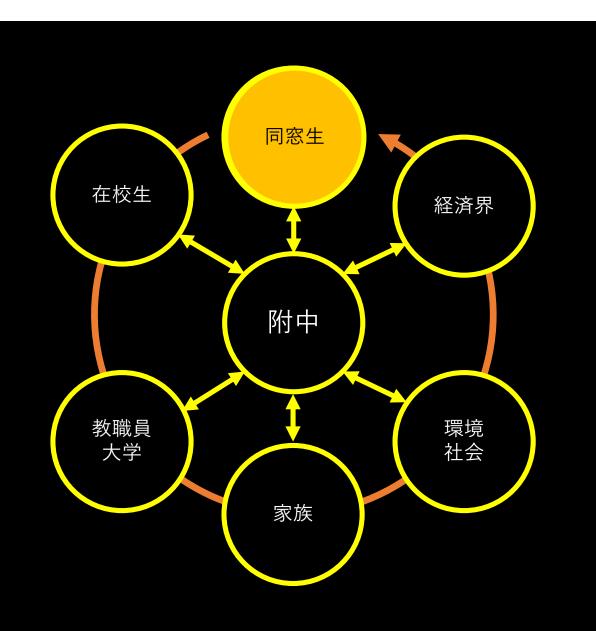
- ・附中のブランド、ポジションの低下
- ・国立大附属の優位性が低下
- ・資金不足、不安定な支援形態 (大学、育友会、後援会からの金銭的、物質的支援)
- ・県立明和高校に附属中学ができ、中高一貫教育の公立学校が誕生

「附中は生き残れるか、選ばれるか」
「附中がなくなるかも」という危機感

先輩たちの時代のブランド価値まで引き上げ、附中を存続させたい

## 出身校の価値が上がる 自分たちの価値が上がる

同窓会事業を通じていい評判ができる

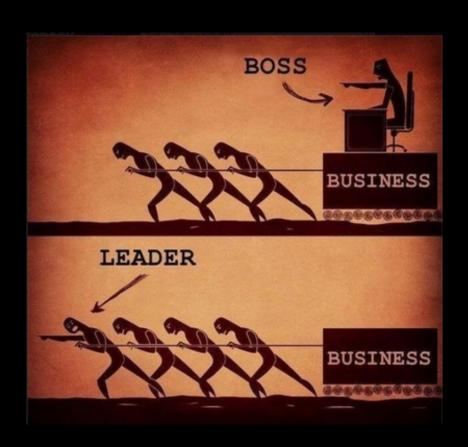


ステークホルダーに 循環する価値

## 自走拡散させる価値

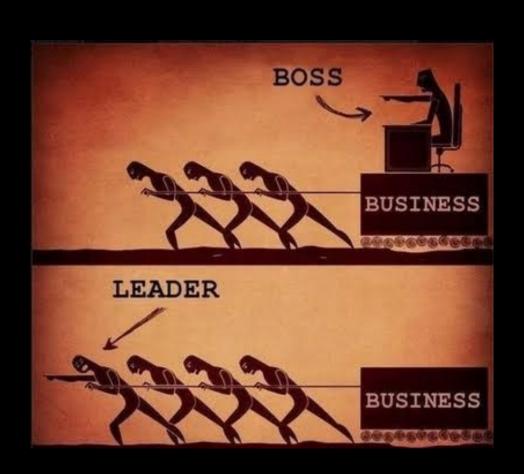
今の日本にとって大切な人材を輩出する学校

それは リーダー





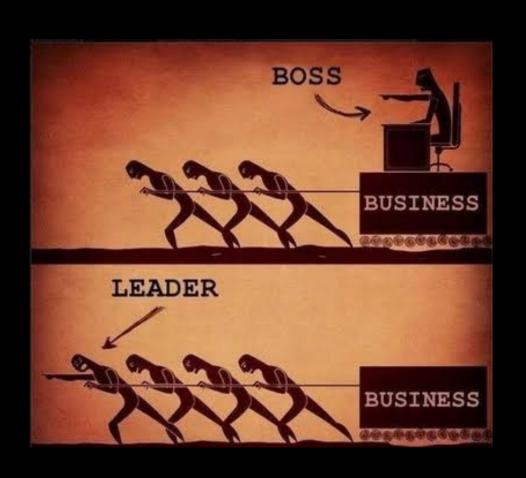
## 開拓者>出世する人



グループ マネジメント 同質化

チーム リーディング ダイバーシティ

### 問いを立てる力>正解を出す力

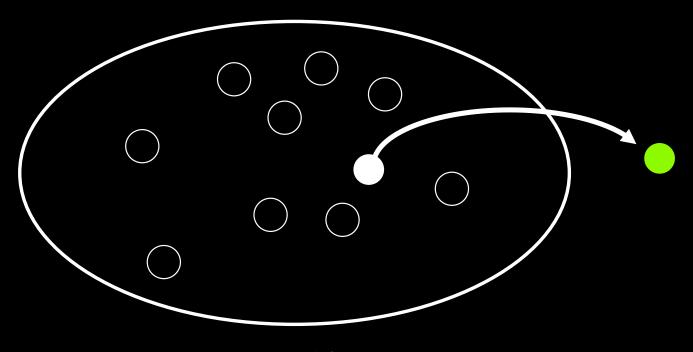


グループ マネジメント 同質化

チーム リーディング ダイバーシティ

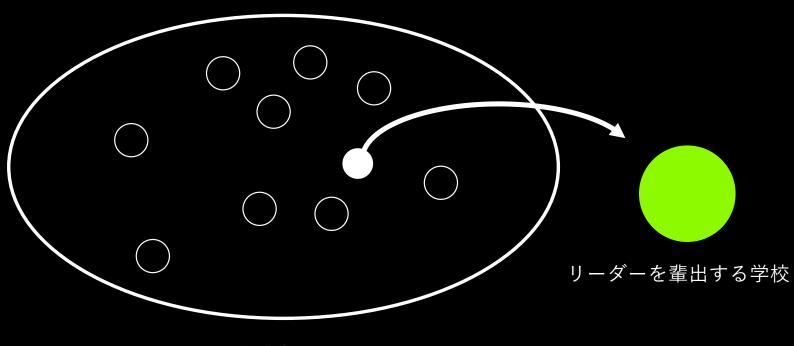
# リーダーを輩出する学校に ふさわしい 同窓会事業でありたい

# 抜け出そう



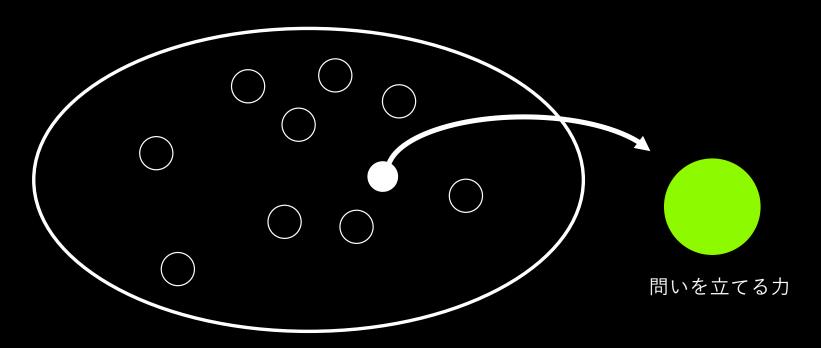
進学校

## これからの学校の価値



いい学校に行く

## リーダーの資質



正解を出す

## **SEEDS**

(らしさ、歴史)

- ・何事にも真剣
- 未来志向
- 自主、自律
- 社交性
- ・問いを立てる力
- ・リーダーシップ
- ・実行力

## **NEEDS**

(時代の要請、未来)

•

- ・多様化
- ・インフレ基調
- 超高齡化社会
- ・人間の再定義
- ・上下から左右へ
- SWGs
- 妄想力

目的

# 先へ行く

中学校学習指導要領(平成 29 年告示)解説

## 総合的な学習の時間編

平成 29 年 7 月



文部科学省

#### 第2節 目標の趣旨

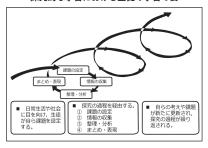
#### ● 1 総合的な学習の時間の特質に応じた学習の在り方

#### (1) 探究的な見方・考え方を働かせる

探究的な見方・考え方を働かせるということを目標の冒頭に置いたのは、探究 的な学習の重要性に鑑み、探究的な学習の過程を総合的な学習の時間の本質と捉 え、中心に据えることを意味している。総合的な学習の時間における学習では、 問題解決的な活動が発展的に繰り返されていく。これを探究的な学習と呼び、平 成20年の「中学校学習指導要領解説総合的な学習の時間編」において、「探究的 な学習における生徒の学習の姿」として、図のような一連の学習過程を示した。

生徒は、①日常生活や 社会に目を向けた時に湧 き上がってくる疑問や関 心に基づいて, 自ら課題 を見付け、②そこにある 具体的な問題について情 報を収集し、③その情報 を整理・分析したり、知 識や技能に結び付けた り、考えを出し合ったり しながら問題の解決に取 り組み、④明らかになっ

#### 探究的な学習における生徒の学習の姿

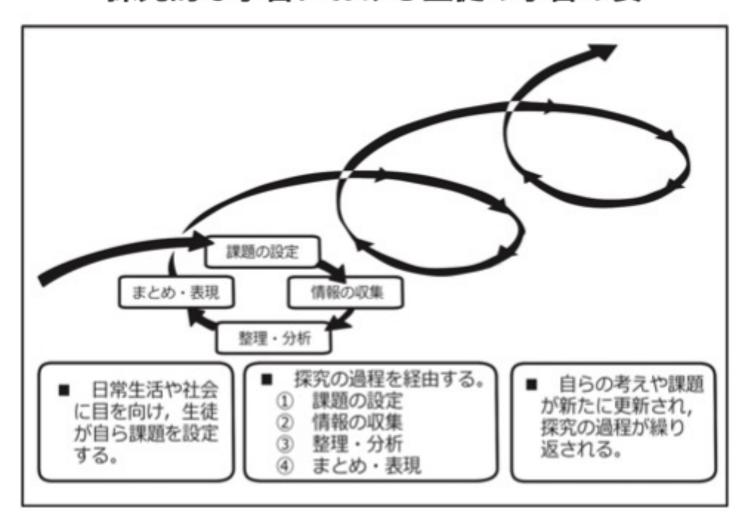


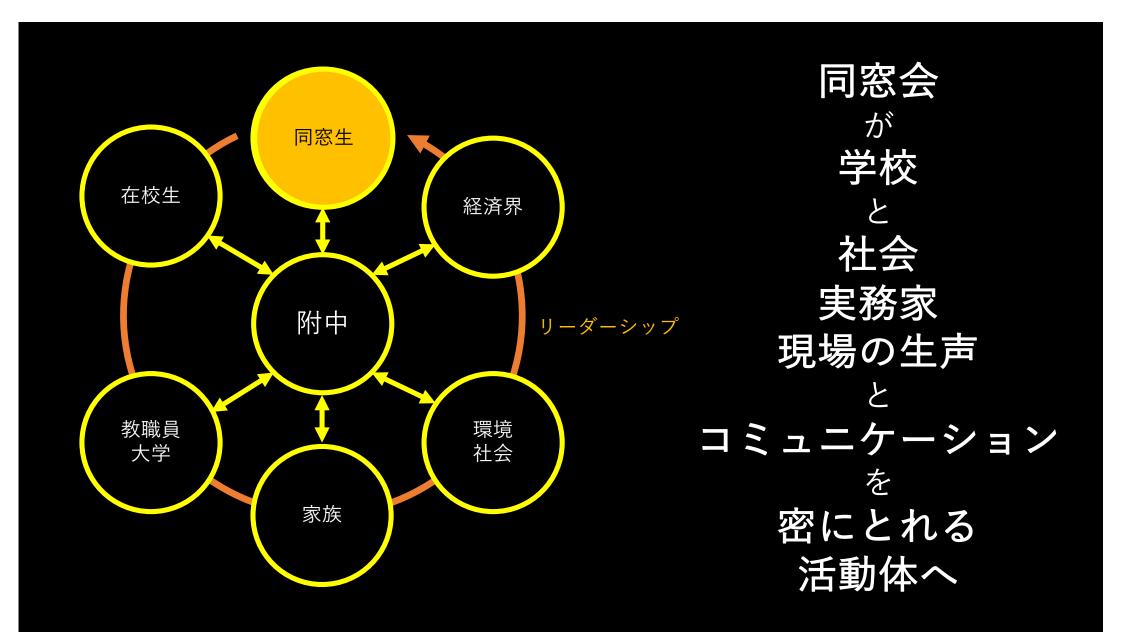
た考えや意見などをまとめ・表現し、そこからまた新たな課題を見付け、更なる 問題の解決を始めるといった学習活動を発展的に繰り返していく。要するに探究 的な学習とは、物事の本質を探って見極めようとする一連の知的営みのことであ る。

探究的な学習では、次のような生徒の姿を見いだすことができる。事象を捉え る感性や問題意識が揺さぶられて、学習活動への取組が真剣になる。身に付けた 知識及び技能を活用し、その有用性を実感する。見方が広がったことを喜び、更 なる学習への意欲を高める。概念が具体性を増して理解が深まる。学んだことを 自己と結び付けて、自分の成長を自覚したり自己の生き方を考えたりする。この ように、探究的な学習においては、生徒の豊かな学習の姿が現れる。ただし、こ の①②③④の過程を固定的に捉える必要はない。物事の本質を探って見極めよう とするとき、活動の順序が入れ替わったり、ある活動が重点的に行われたりする

2 目標の趣旨

## 探究的な学習における生徒の学習の姿





## 同窓会がニュースになる。



#### 前を見る同窓会でリーダーシップ

同窓生と在校生のコミュニケーションこそが、学校を成長させる。愛知教育大学附属名古屋中学校の80周年事業が、学校にて行われた。同校は愛知県有数の進学校であり、少子化に伴う受験者の減少傾向が見られる中学受験の中で、常に高い倍率で入学希望者を維持している学校としても知られている。その強さが周年事業からも感じられた。

創立記念事業というと、過去を懐かしむ会という連想をしてしまう。しかし、同校の同窓会は「振り返るより前を見よう」という方針で企画されてきた。今、国立教育大学の附属校の存在意義は日本中で議論されている。そうした背景の中、「今求められている人材ではなく、これから必要とされる人材を輩出する」ことを重視し、現場で活躍する卒業生たちとの対話を重視した。かつては壇上からの講演会が中心であった周年事業も、

「セッション」として対話を主軸に置いていた。生徒と卒業生、卒業生同士、教職員と卒業生、生徒と成長企業キーマン・・・モデレーターとスピーカーで構成される対話型イベントであった。

同行の校歌に「未来拓かん」「未来築かん」という歌詞がある。未来志向であること。そのために常に「なんでだろう」という問いを立てる力を重視してきた同校の・・・・

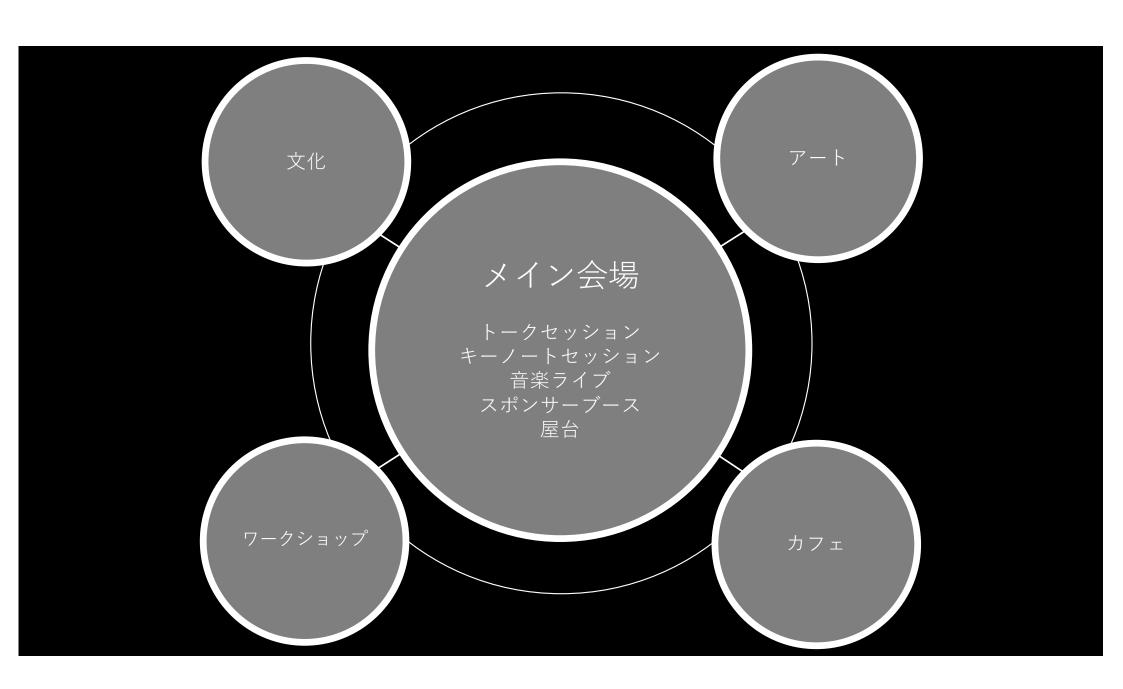
話題になる。 これからのモデルになる。 ニュースになる。 アルムナイをリードする。 提言のある集い。

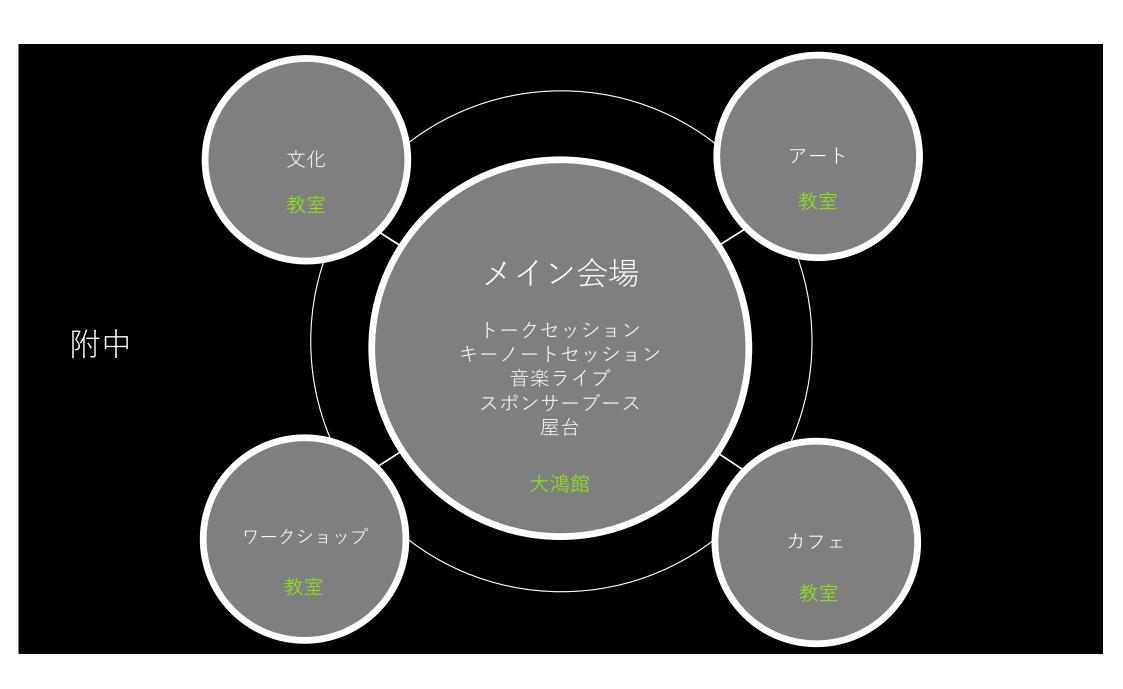
より好きになる母校。

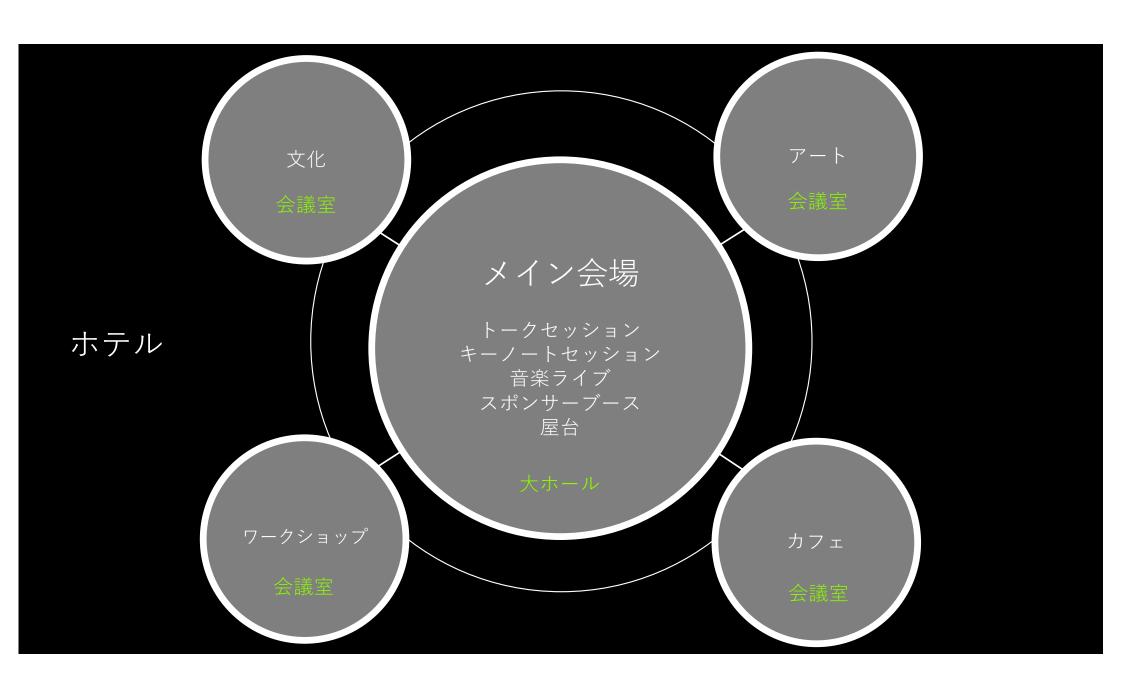
コミュニケーション型イベント

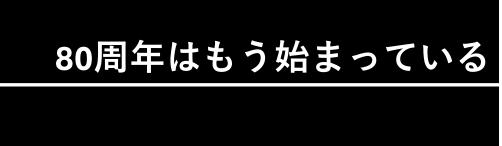
フェス カンファレンス 学園祭

同時多発 インタラクティブ









事前から巻き込む プロセスエコノミー 脱アンベール

# 今から ワクワクさせよう

# イベントに行くだけではなく、 もっと参加したい もっと関わりたい

# クラウドファンディング



寄付を募るならREADYFOR プロジェクトの掲載・ご相談はこちら

#### 令和7年8月豪雨

緊急支援 募集ページへ

夏に考える命のリスク~ 健康と医療を支える 最前線プロジェクト



毎月0 READ

<

#### 富山県立八尾高校 創立百周年記念事業 クラウドファンディング募金







**G** 





#### ■ プロジェクト本文

プロジェクト概要 活動報告 10 応援コメント 54

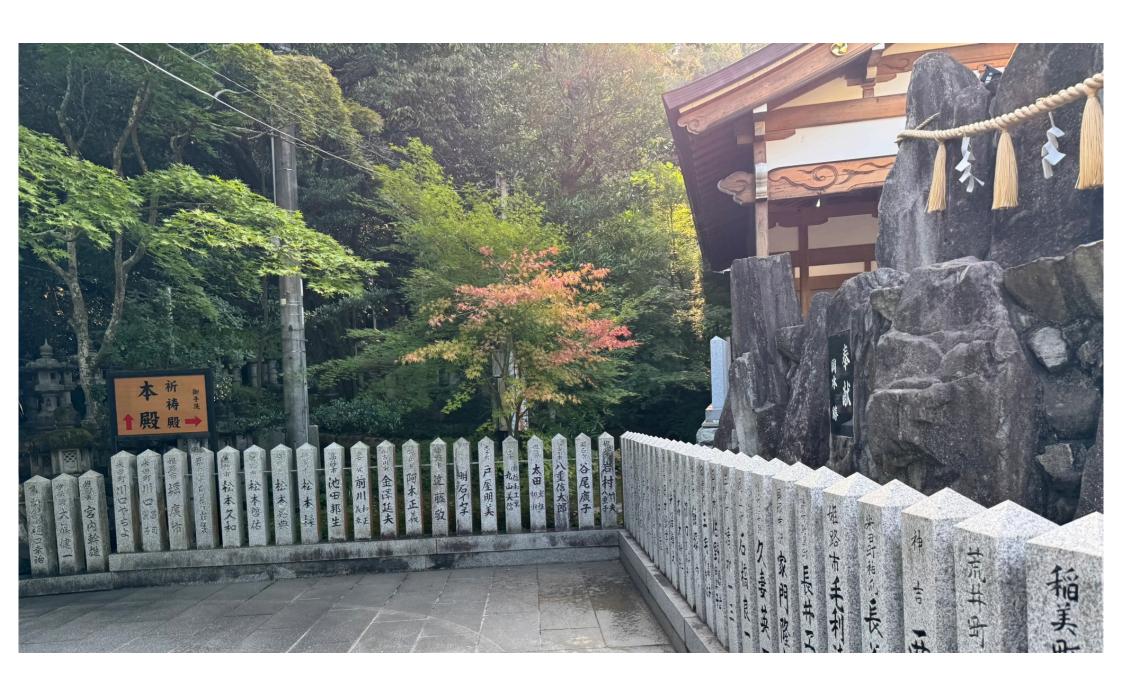
これまでのご支援により<mark>第1目標(30万円)を達成することができました!</mark> 本当にありがとうございました。

つきましては、当初計画通り、本来目標の「ネクストゴール:300万円」(昨年から別途実施中の募金活動目標額の1割相当)を設定致し、募金を継続させていただきますので、皆さまからの多大なご協力をお願い致します。

#### 借 リターン

3,000 円 +システム利用料 感謝のメール1 感謝のメールもお送りいたします。





現代版神社、お祭りモデル

- 入場券
- 寄付
- ・会場への広告掲出
- ・冊子への広告出稿
- ・パスへの広告掲出
- ・セッションスポンサー
- ・ブース
- ・サンプリング
- ・飲食
- ・イベント協賛 など

広がる輪

# 名簿は難しいけれど 本はつくれる

年史 対談(イベント連動) 鴻告縮刷 写真集

## 新しい同窓会

講演より対談。 掛け算の力。 聞くより話す。 定時よりフレックス。 見るより参加。 リアルXバーチャル。 リアルス・ボーダレス。 楽しみは自分の意志で<u>つくる</u>。

話題になる。 これからのモデルになる。 ニュースになって、より好きになる母校。

コンセプト キーワード

# 未来起点

## **Leader Meets Leaders**

## ART OF COMMUNICATION



誇りと勇気

# Society 5.0

## Sustainable Networking



附中という財産(ネットワーク、仲間)を持っている自分に気づく

伝統と挑戦80周年

ありがとう80年 これからもこの学校と共に 一生忘れない砂田橋

心で学んだ附中

80年分のありがとう

笑顔がつむぐ80年の絆

あなたの力が未来を動かす

80 (はちじゅう) だよ、全員集合!

集(つど)って嬉しや同窓会

来てみやぁ、附中、同窓会

はじまりはいつも附中

青春の再見

魅せるぜ附中の底力

附中ハチマルプロジェクト ~附中に、まるごと再会する日~ 再会は新しい物語の始まり

80周年!つながる心、広がる未来

ここから始まり、ここから繋がる

未来への意志が、私たちの才能なんだ。

Leader meets leaders.

セレンディピティにあふれている。

ちょっといい自分と出会う。

少し上の未来と出会う。

才能脈

明日から、また元気。

つながりが光っている。

どうしよう、楽しさが湧いてくる。

AIには人脈がないから。



どうしよう、楽しい未来が湧いてくる。

愛知教育大学附属名古屋中学校同窓会80周年